

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、閉会中の9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 曾於市消防センター整備事業(北部消防署を含む)建設の場所はどこか。

答 4箇所の候補地を検討し、最終的に旧大隅町の福祉センター跡地を選定した。

問 なぜ福祉センター跡地か。

答 市の所有する土地で取得費が要らないことが一番の理由である。

意見 将来的に見たとき、今回の場所ですら市民の不利益にならないか、市民を考えたとき本当によいのか。また、代替地は北部消防署の近くにはないのかなど、消防組合と再度話し合いを

し、用地費を含めて再検討を行い、執行に当たっては慎重にすべきである。

問 住宅リフォーム補助金の補正増の理由は。

答 夏場になって瓦の葺き替え掛けや塗装が多くなり、補助金の申請件数が増えたためである。

問 今回の財政調整基金の取崩しの理由は。

答 農林水産施設災害復旧費、及び公共土木災害復旧費の繰り入れが主なものである。

問 末吉庁舎の駐車場整備の用地取得費の考え方は。

答 末吉庁舎裏門の所の土地を購入して、砂利による整備を行う。

意見 今後造成して舗装まで整備すべきである。

問 難視聴地域における地上デジタル放送のアンテナ工事費は。

答 各市有施設3支所の28ヶ所を行うための工事費である。

意見 地デジ関連の執行については、地元の電気店等をセッティングして対応をすべきである。



末吉庁舎北側付近の駐車場整備予定地



大隅曾於地区消防組合消防本部・北部消防署

文教厚生常任委員会

(原田賢一郎委員長)

☆曾於市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律が昨年施行されたことに伴い、他の介護保険等に係る延滞金の特例との均衡を図るため、改正するものである。

☆曾於市小学校及び中学校の設置、並びに管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆曾於市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

右の2議案は平成24年4月1日より、南之郷中学校を末吉中学校に、財部北中学校、財部南中学校を財部中学校に吸収統合するための条例改正である。

問 地域とPTA、学校がどのような結論を出したか確認したのか。

答 PTA総会等で具体的な内容方針を示し、その質疑の内容などからほとんどの方が了承していただいたと考えている。

意見 これから統合までの事業実施にあたっては、地域住民の認識を的確に把握し、より慎重な対応をすべきである。

☆曾於市立保育所条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定について

平成23年4月1日から曾於市立財部北保育所、及び財部南保育所を民営化することに伴い、設置条例を廃止するものである。

問 両保育所の移管先は。

答 2法人から公募があり、選考委員会でNPO法人(非特定営利団体法人) 恵昭会(末吉町)に決まった。

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正について(所管)

問 障害者介護給付費3502万1千円の増は。

答 居宅介護(ヘルパー)生活介護(デイサービス)短期入所(施設に宿泊を伴う入所)の利用者数、利用日数の増によるものである。

問 健康増進施設事業費6千52万円の増額は。

答 末吉老人福祉センターの老朽化に伴い、健康増進施設を現在のメセナ会館に併設する形で建設するため、駐車場用地を取得するものである。

☆平成22年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正について

問 繰越金は。

答 平成21年度決算見込みで1億6785万5304円となる。

☆平成22年度曾於市介護保険特別会計予算の補正について

認定審査事務負担金、介護保険及び後期高齢者医療に係る高額医療合算介護サービス費等の補正である。



財部南保育所



財部北保育所

元気に遊んでいる園児たち

建設経済常任委員会

(大川原主税委員長)

☆平成21年度曾於市水道事業会計決算の認定について

給水戸数1万4362戸で前年度と比較すると21戸の減である。また給水人口は3万4368人で49人の減であり、計画給水人口に対して90%の普及率である。

問 水道料金の統一の見通しは。

答 料金の統一については、平成23年度から25年度にかけて結論をだすが、現在コンサルタントに依頼しているので、結果についても検討したい。

☆平成21年度曾於市水道事業剰余金の処分について

地方公営企業法第32条第2項の規定により処分するものである。剰余金の処分については、減債積立金630万円、建設改良積立金2578

万1096円、翌年度繰越利益剰余金226万1200円の処分である。

☆調停申立ての提起(市営住宅の明渡し請求及び滞納家賃等の支払請求)について

市営住宅の明渡し請求及び滞納家賃等の支払請求を求めため、調停申立てを提起するもので、地方自治法第96条第1項第12号の規定による、今回の調停者は15名である。

問 対象者の連帯保証人への今後の対応は。

答 滞納額が少ない段階で、支払に関する情報提供や要請を早いうちからしていく。

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)について

問 市単独農業用施設

等災害復旧事業補助金の内容は。

答 農地の埋没や流失は50%、農地畦畔の決壊は80%の補助である。

問 大隅農産加工研修センター整備事業の内容は。

答 大隅婦人の家と大隅南地区農業構造改善センターはともに古く老朽化が進んでおり、毎年施設の修繕を行っている状況である。今回新しく22年度から23年度にかけて八合原に整備するものである。

問 道の駅及びきらら館の今後の管理内容は。

答 平成22年8月10日から平成26年3月31日までメセナ末吉に使用許可を出している。出荷者協議会を設立して来年の春のオープンを目指して進めていく。

問 口蹄疫経営維持緊急資金利子補給の内容は。

答 繁殖雌牛に関して貸付け限度額一頭当たり5万円を頭数に応じて貸付けるといふもので、融資期間は10年間とし、

このうち2年間の据え置き利率については、県市町村、融資機関の補給があり、残りも末端金利として1・08%が農家負担となるが、市が農家負担分の利子を全額補填するので農家にとっては、無利子である。

☆平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計の補正について

問 施設修繕の内容は。

答 下水道浄化センターの流量調整槽嫌気攪拌機が動かなくなり取替え修繕する。

☆平成22年度曾於市水道事業会計予算の補正について

問 配水施設維持補修の内容は。

答 7月初旬の集中豪雨の際の落雷で、深川簡水の送水管やポンプ等施設が故障したための修繕である。



高松の水道タンク (末吉町)



老朽化が進んでいる大隅婦人の家

特 別 委 員 会 報 告

● 過疎地域自立促進計画特別委員会 委員長 久長 登良男

☆曾於市過疎地域自立促進計画について
(賛成多数 可決)

議長を除く21名による全議員で構成される特別委員会が設置され、曾於市過疎地域自立促進計画が付託された。慎重に審査した結果賛成多数で可決すべきものと決定しました。

過疎地域自立促進特別

措置法が、平成22年3月31日に期限切れを迎えておりましたが、法の一部を改正する法案が衆参両議院で可決され、4月1日から施行されました。今回改正された内容は、過疎対策事業債の対象として、ソフト事業が追加されたことなどであります。

また、失効期限を6年間延長し、計画期間は平成28年3月31日までとなっております。

このことを踏まえ、曾於市過疎地域自立促進計画では、それぞれの現状と問題点、その対策、計画が示されています。

1. 基本的な事項では、人口の減少が顕著に現れ、老年者人口比率の増加、幼年人口比率の減少等により、過疎化が進行しています。

2. 産業の振興では、農業林業とも就業される人が減少し、労働力の高齢化が進んでいます。

3. 交通通信体系の整備では、道路等の効果的効率的な整備を念頭に置き、地域の活性化、利便性の向上に努めます。

4. 生活環境の整備では、水道施設、下水道施設、廃棄物処理、消防施設等の整備計画が示されています。

5. 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進では、健康増進施設整備事業が計画されています。

6. 医療確保では、関係機関との連携強化に努めます。

7. 教育の振興では、児童生徒数が減少し、学校の小規模化が深刻化しています。

8. 地域の文化の振興では、地域で育まれた歴史文化の保存、継承の取り組みに努めます。

9. 集落の整備では、自治会統合補助事業を活用し、自治会統合を推進します。

10. その他地域の自立促進に關し必要な事項では、定住促進を図っていきま

す。

実施計画については、毎年度ローリングされることになっており、事業を実施するに当たっては論議を深め、実施すべきである。

また、有利な財源確保に努めるべき等の意見が出され、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

※注釈 過疎地域自立促進特別措置法とは

人口の著しい減少に伴い、地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域について、総合

的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講じることにより、これらの地域の自立促進を図り、もって住民福祉の向上、雇用拡大、地域格差の是正を図ることを目的とする。



過疎地域自立促進計画特別委員会の模様